

第 131 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 28 年 4 月 22 日（金） 13：30～15：09

場 所：浜田公民館第 1 研修室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 佐々木課長 森脇課長 岡田室長

山根課長 島田館長 長見所長 渡邊課長 村瀧室長（代：山本係長）

大崎分室長 栗栖分室長 森下分室長 吉野分室長

書記：小林係長 日ノ原主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市教育委員会事務局組織規則の改正について（資料 1）
- (2) 社会教育委員の選任について（資料 2）
- (3) 公民館職員の選任について（資料 3）
- (4) 浜田市子ども読書活動推進計画検討委員会委員委嘱について（資料 4）
- (5) 教育委員会学校訪問について（資料 5）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) 各課年間スケジュールについて（資料 13）
- (2) 浜田市総合振興計画審議会委員の選出について
- (3) その他

1 教育長報告

石本教育長

教育委員会事務局の方も人事異動があり、新たなメンバーで平成 28 年度がスタートしている。教育委員方のご支援をよろしくお願ひしたい。

各学校、幼稚園は 4 月 8 日に始業式を行い、その後順次入学式が行われ、今年度がスタートした。しかしながら、浜田では順調なスタートを切ったが、熊本では大きな地震があり多くの方が尊い命を失い、建物の被害も甚大である。震度 7 が 2 日間続いているということは異例であると新聞報道等もされている。そうした中で熊本の小学校、新学期が始まったばかりだが、いつ学校へまた通える様になるか分からないといった状況が続いている所が多いといった状況である。1 日も早い復旧・復興がされることを祈

るばかりである。熊本城の災害の映像がよく放送されるが、修復するには10年から20年位かかるといった様な話があった。気の遠くなる様な歳月をかけて復興ということだが、浜田市の方でできる応援はしていかなければいけないと思っている。

- ① 3月14日（月）JOC ジュニアオリンピック水泳大会出場・市長表敬（市長応接室）

JOC ジュニアオリンピック水泳大会に出場される三隅小学校の三浦さん、松原小学校の上府さんの2人が市長表敬された。この2人は昨年も全国大会に出ていて、水泳で頑張っているが、今回の大会でも健闘はされたが決勝には進めなかったと報告を受けている。

- ② 3月15日（火）平成27年度末教職員人事異動内示
平成27年度末の教職員人事異動の内示を行った。

- ③ 3月15日（火）江津中2年ニュージーランドラグビー留学・市長表敬

江津中2年の笹田さんが、江津中だが住まいが浜田市長浜町のため市長表敬に来られた。ニュージーランドへラグビー留学で5か月間向こうの高校へ通われるということで挨拶に来られた。今回は笹田さん1人ではなく石見智翠館高校女子ラグビー部の選手4名も一緒に行くということである。

- ④ 3月17日（木）卒園式（原井幼外）

3月18日（金）卒業式（石見小外）

3月17日、18日と卒園式・卒業式等出席して委員方にも色々と学校の方へ行っていただいた。

- ⑤ 3月20日（日）今市小学校閉校式（今市小体育館）

今市小学校閉校式が執り行われた。

- ⑥ 3月22日（火）はまだっ子共育シンポジウム（いわみーる）

生涯学習課の主管ではまだっ子共育シンポジウムがいわみーるで行われた。その時の話の内容をまとめて、今後の浜田市の教育振興計画を実現するためにはこういった取組を行うということで、今日の資料にはまだっ子共育プロジェクトとのパンフレットを作成して配付している。基本理念ということで、「地域ぐるみで子どもを育み 子どもも地域（大人）も高まり合おう」と、子どもだけでなく大人も勉強して高めていこうといった様な理念に基づいてそれぞれ学校支援、ふるさと教育や放課後の支援、家庭教育支援、そういったもののためにこういった事業

をやるということがまとめられた非常によくできた資料だと思う。時間のある時に見ていただきたい。市の教育委員会で取り組む大きな事業がここに網羅されている。こういったものの基になるシンポジウムが22日に開かれている。

⑦ 3月23日（水）JAしまね・いわみ中央女性部・雑巾贈呈（教育長室）

JAしまね・いわみ中央女性部から雑巾を毎年贈っていただいている。今年は650枚の雑巾を贈っていただいて、早速各幼稚園、小中学校に配布をしたところである。

⑧ 3月24日（木）ティーエスアルフレッサ株式会社・車椅子贈呈（教育長室）

ティーエスアルフレッサ株式会社から車椅子を5台寄贈していただいた。この車椅子については、公民館でまだ車椅子が配置されていないところがあるのでそこに配備させていただく。ティーエスアルフレッサ株式会社とは昔の成和産業と常盤薬品が一緒になって外資も入ってできた新しい会社である。そういった寄付を受けている。

⑨ 3月25日（金）スクールガードリーダー情報交換会（教育長室）

スクールガードリーダーの情報交換会となっているが、平成18年にスクールガードリーダーの制度ができ、5年間は県の委嘱で県が主体となっていたが、その後5年間は市が引き継いでこのスクールガードリーダーを配置していた。警察のOBの方3名にお願いしており、下校時の児童の付き添いや見守り、それから通学路の危険個所の点検・指導、そういったものについてスクールガードリーダーの皆さんにお願いをして取組をしていただいている。10年間で終わり、県の事業も終わった後、市が引き継いだ財源的なこともあり、一応の成果も出た。あとは地域の見守り隊の方に子どもたちの安全等についてはお願いをするということで、10年をもってこの制度は終了したということで、情報交換会となっているが感謝状を渡した。

⑩ 3月30日（水）浜田市ソフトテニス連盟要望（教育長室）

浜田市ソフトテニス連盟の方から要望を市の方に出された。金城の総合運動公園の中にあるテニス場が使用頻度も少ないということもあるが、テニスコートに苔が生えており使用する時に滑って危ないということで何か対策がないだろうかという要

望があった。オムニコートで、人工芝の中に砂が入ったコートだが、その目の中に苔が生えてなかなか抜きにくいので薬品等で処理するしかないかと思っているが、そういった要望書が出され、業者と相談をしているところである。

⑪ 3月31日（木）教育委員会職員退職者辞令交付式（浜田公民館）

教育委員会職員退職者辞令交付ということで、横田次長と岡見小学校の用務員の吉川班長が退職となったため交付した。

⑫ 3月31日（木）教職員退職者・辞職者辞令交付式

教職員の退職者辞令交付式には委員方も出席いただき、15名の方が退職、辞職をされた。

⑬ 3月31日（木）公民館職員退職者感謝状贈呈式（教育委員室）

公民館職員で退職される方の感謝状の贈呈ということで館長4名と主事3名の計7名の方に感謝状を贈った。20年を超える主事が今回2名退職となった。

⑭ 4月1日（金）教育委員会職員新規採用者辞令交付式（浜田公民館）

教育委員会職員新規採用者辞令交付式ということで、今回教育委員会では2名採用となった。先ほどご挨拶した岡田室長と教育総務課武居主事が入った。

⑮ 4月3日（日）第53回五風記念会（市総合福祉センター）

五風記念会があった。毎年行われる五風の会員の方々が自分たちの研究の成果を発表される会だが、4名の会員の方が研究発表された。その後講演があり、私がふるさと教育について1時間話をさせていただいた。昨年も頼まれたが、昨年は市長にお願いをした。今年は私が話をさせていただいた。来月号か再来月号の五風に簡単な骨子が載るとのことなのでご覧いただけたらと思う。

⑯ 4月5日（火）防犯グッズ及びランドセルカバー贈呈式（浜田公民館）

小学校の新1年生に防犯グッズとランドセルカバーの贈呈式を浜田公民館で行った。ライオンズクラブと青少年健全育成推進会議、補導員連絡会議から防犯グッズのホイッスルが寄贈されて、交通安全協会からランドセルカバーを贈呈されたということである。

⑰ 4月5日（火）浜田市スポーツ推進委員連絡協議会全大会（市

役所講堂)

浜田市スポーツ推進委員連絡協議会の全大会が、委員方2年任期になるが委嘱替えの時期でもあり委嘱状を交付するとともに今年1年間の計画について相談した。6月25日、26日の土日に中国地区のスポーツ推進委員の研修会が浜田で行われる。中国5県のスポーツ推進委員約600名が来られて、県体、武道館、一中を使って色々な研修をされる。土曜日には懇親会がジョイプラザであるが、浜田では600人が一度に入る様な施設はないのでジョイプラザを全館借りて、上でやることを下階でスクリーンに流しながらやる。そういった大きな催し物が6月25日、26日で予定されている。

- ⑱ 4月7日(木) プロバスケットボールbjリーグ・島根スサノオマジック 山本エドワードキャプテン、曳野康久選手・市長表敬(市長応接室)

プロバスケットボールbjリーグ・島根スサノオマジックの山本エドワードキャプテンと曳野康久選手が市長表敬に来られた。これは16日、17日の土日で浜田大会があり、そのPRを兼ねて来られた。過去浜田では8勝1敗ということで非常に勝率が高く、勝ちに恵まれた場所ということで期待されていたが土曜日に負けてしまい、1勝1敗で今年は終わった様である。全体で3位だということでプレーオフに出る権利を得ているということである。

- ⑲ 4月8日(金) 旭小学校開校式(旭小体育館)

旭小学校開校式には委員方にも出席いただいて、執り行うことができた。

- ⑳ 4月10日(日) 平成28年度美作濱田会慰霊祭及び総会(津山市・鶴田藩西御殿跡)

平成28年度美作濱田会慰霊祭及び総会が津山であり、これには市長、山本教育部長、文化振興課の川本係長の3名が出席された。

- ㉑ 4月15日(金) 中央図書館来館者50万人記念セレモニー(中央図書館)

中央図書館来館者50万人記念セレモニーがあった。新聞報道等であったが、江津の女性の方が50万人目ということだった。

江津から度々浜田まで図書館を利用に来られている方であり、市外から来ていただいて有難いと感じた。

② 4月19日(火) 全国学力調査・学習状況調査

全国学力調査・学習状況調査が行われた。小学6年生と中学3年生で実施しているが、昨年12月に実施した県の学力調査の時に、当時の5年生は学力的に厳しい学年だという結果が出ていたので多少心配しているが、多分頑張ってくれているだろうと思っている。結果は8月になるが自校採点しているので、自校採点の様子については、委員方の学校訪問の時に学校から説明があると思う。

③ 4月21日(水) 平成28年度第1回浜田市公民館連絡協議会館長会議(久佐公民館)

公民館連絡協議会の館長会議が久佐公民館で行われた。今年度は26館の内6館が新しい館長となり、現場が少し変わってスタートしたところである。1館はまだ館長が決まっていない。会長には雲城の岡本館長が再任されて引き続き2年間連絡協議会の会長をされる。おそらく県の協議会の方の副会長にもなれると思う。

1か月間の様子をお話しさせていただいたが、ここまでで質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

長浜の子どもが江津中に通っていてラグビーで留学ということだが、ラグビーをやるために江津の中学校に通っているのか。

石本教育長

中学生だが石見智翠館高校でラグビーの練習をしており、三中で授業が終わって通うのでは遅れるので高校に少しでも近い中学校へ通っている。1年生の時は三中だったが、2年生から江津中に通っている。

藤本委員

留学するのはいいが、費用は自己負担か。

石本教育長

全て自己負担である。

栗栖分室長

4月5日の防犯グッズ及びランドセルカバーの配布を全国各地で同じ様なことをされているが、気になる事が1点ある。小宮のお坊さんという有名な大学教授がいらっしゃり、犯罪学をやっているが、1年生だとすぐ分かるから本当はすごく危険であるといったことを話されていた。やるのであれば全校の生徒であるとか、そういった話があった。

小林係長

それは1つの考え方である。後ほど担当課へお話いただきたい。

石本教育長

犯罪の面では小学1年生と目立つかもしれないが、交通安全の

金本委員

面から言うと、小学1年生でまだ交通ルールが分からない子どもだと分かるから気を付けようということになるかもしれない。

ランドセルカバーを付けていると、保険適用があるのではないか。

森脇課長

保険適用はワッペンである。

石本教育長

ワッペンは保険会社が配布している。

2 議題

(1) 浜田市教育委員会事務局組織規則の改正について（資料1）

小林係長

内容としては3番の目的・理由にあるとおり、先般お知らせした青少年サポートセンターの事務局を移転するために改正を行うものである。概要としては同規則の中に、事務局の位置を定める条項があり、第3条第3号であるが、それを改めるものである。現在の京町50番地から殿町22番地に、時間がかかったが正式に旧浜田警察署に変わるということで手続きが進んでおり承認の見込みとなっている。5番の施行期日としては平成28年5月1日としている。事前にお示しした資料では公布の日としていたが、法令担当課と協議をして使用開始する5月1日から施行ということで整理をしたので、この点が変更になっていることをご確認いただきたい。裏面が改正内容、2枚目が新旧対照表となっている。2枚目の裏が青少年サポートセンターの移転についての案内文書になっている。旧浜田警察署の奥側になるが、その部分を借用して事務を開始する。業務開始は5月6日から、現在相談業務等は4月21日に停止をしており、移転に向けて作業を進めている。補足として、あくまで旧浜田警察署の使用は短期的な緊急措置的なところで借り受けをしているところもあるので、予定としては平成28年度中にまた移動をする。平成29年度からは新たな場所を確保して使用する予定となっている。一時的な移転という位置づけで整理をしているところである。

石本教育長

青少年サポートセンターの事務所の移転に伴い、規則を一部改正するということである。説明があつたが一時的にということで、平成28年度の1年間に限定されるかもしれないが、当面は旧浜田警察署へ移るということである。規則の改正については問題ないと思うが、これに関して質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員	以前お聞きした中で文化振興課も一緒に移転との話があったが違うのか。
小林係長	当初お話しした段階では文化振興課についても合わせて移転するという方向で協議をしていたが、市内部の協議において市の東第2分庁舎の南会議室が空いていること、文化振興課の移転について、青少年サポートセンターの場合は警察署の建物を借用するにあたって減免措置が受けられるが、文化振興課においては減免措置が受けられないこと、その使用料を捻出できないことなどを考慮して文化振興課は旧浜田警察署に移転せずに東第2分庁舎に移転することに決まった。ここも連休明けを目標に移転予定をしているところである。
宇津委員	青少年サポートセンター以外の団体が旧浜田警察署の後に入る予定はあるか。
小林係長	少なくとも平成28年度中にはない。一時的に教育委員会が借り受ける形になる。
石本教育長	おそらくその後はその建物を市が借りることができないかといったことを協議している最中である。その時にはおそらく教育委員会は移ることになるのではないかと思う。
宇津委員	築何年位経つのか分からないが、耐震の問題等々はないのか。
石本教育長	ある。
小林係長	問題はあるが、耐震については確認の結果、耐震性には問題ないということである。ただ古い庁舎であるので、エレベーターがなく来庁者に不便をかける様な構造になっているという問題など、いくつかある中でそこをどうするかといったことが課題になっている様である。
石本教育長	昔、耐震について直さなければいけないという話があったが大丈夫なのか。
小林係長	そういう話もあったが、正式に確認が取れ、問題ないということだった。
石本教育長	5月6日から実際には業務を開始するということである。 この件について承認いただけるか。
各委員	全会一致で承認

(2) 社会教育委員の選任について (資料2)

山根課長	浜田市社会教育委員の選任について、社会教育委員の委嘱を求めるものである。別紙案のとおりということで、裏面に名簿が付
------	---

	<p>いている。継続の方が7名と新規の方が4名ということで、任期は4月1日から再来年の3月31日までの2年間である。2番のPTA関係の方については5月13日の総会で選任される予定である。もう1人自治区からの選任ということになっており、弥栄の方から今選任していただいているところである。</p>
石本教育長	<p>新任の委員の方で所属等が何も書いてない方がおられるが、その辺が多少分かればお願いしたい。</p>
山根課長	<p>所属等はないが、9番の方は会社勤務で地元においてはスポーツや子育てにおいて色々関わって活躍しておられると聞いている。10番の方は企業を退職されて弥栄町にIターンをされている方と聞いている。</p>
森下分室長	<p>この方については前委員推薦ということもあり、お願いを受けていただいた経緯がある。11番の選任中については部内会議で申し上げた様に、なかなか錚々たるメンバーで、この様な方がメンバーにおられるということをお示ししている。教育行政で働かれて退職した方や教職員を定年退職されて今地元に残っておられる方の元々の人数が少なく、何人か当たったが、打診するところも少ないのが実情である。</p>
石本教育長 各委員	<p>今名簿にある方を選任するということによろしいか。 全会一致で承認</p>

(3) 公民館職員の選任について (資料3)

山根課長	<p>前回の定例会で説明した選任中の職員について任命を求めるものである。浜田公民館館長、岡田繁さんが継続。長浜公民館館長、瀧口嘉輝さん。今市公民館館長、高羽静男さんで、高羽さんについては4月15日からである。岡見公民館館長、原田和義さん。白砂公民館館長、串崎美之さん。周布公民館主事、佐々木一俊さん。今市公民館主事、大屋マサ子さんが継続。今市公民館主事、前田仁美さんが継続。安城公民館主事、大塚美穂さん。以上の9名について任命をよろしくお願いしたい。和田公民館館長はまだ選任中である。</p>
石本教育長	<p>確認だが、和田公民館館長は選任中ということで、他の主事はこれで皆決まったのか。</p>
山根課長	<p>そうである。</p>
石本教育長	<p>今説明があった様に、5人の館長と4人の主事について3月の定例会の時にはまだ決まっていなかったが、それ以降に決まった</p>

方々である。質問等はあるか。

質疑応答

- 金本委員 浜田公民館館長は3月で辞められるということだったが、今回4月から継続ということか。
- 石本教育長 3月の時点では辞められるということだったが、やはり続けるということになった。
- 藤本委員 周布公民館の主事のところには60時間と書いてあるが、結局パートということか。
- 山根課長 60時間主事は、浜田自治区にしかないが、報酬という形になってパートの賃金とは異なる。
- 石本教育長 どういう人がいるのか。
- 山根課長 主事の中でも131時間の主事と60時間の主事がいる。館によっては60時間の主事を置かずに何人かのパートで、1人よりも何人かいた方がやりやすいということで、そういった館もある。
- 藤本委員 60時間と書いてあり、裏面の方はパートと書いてあるのでこの区別がどうなっているのか気になったので聞いた。
- 山根課長 8番の主事については本当のパートの扱い、60時間主事は元々夜間とか土日の出勤という様な形で配置するものであった。
- 石本教育長 何も書いていない主事は131時間か。
- 山根課長 そうである。
- 石本教育長 パートはどの位働くのか。
- 山根課長 100時間である。
- 石本教育長 60時間の主事よりパートの方が多いのか。
- 山根課長 そうである。
- 石本教育長 9名の方の選任について事務局から説明があったが、よろしいか。
- 各委員 全会一致で承認

(4) 浜田市子ども読書活動推進計画検討委員会委員委嘱について (資料4)

- 島田館長 前回の定例会でも説明した、今年度第2次の浜田市子ども読書活動推進計画を策定するが、その策定にあたっての委員方の顔ぶれが決まってきたので、この定例会で承認をいただきたいと思い提示させていただいている。10名の委員の内訳を載せているが、推進計画検討委員会の設置要領が別があり、それに沿って前回の枠と同じ所属等から選ばせていただいている。1番の別枝先生は

県立メディアセンターのセンター長でいらっしゃる、図書館協議会の委員の方でもある。2番の鎌田さんは子どもの読書等推進の会の浜田支部長ということで、ボランティアの枠だが、見ている子どもは幼児から小学校の低学年までということである。3番の玉木さんは今年度からの学校図書館部会の部会長である。学校図書館全体の管轄をされる学校の校長先生である。4番の椋田さんは県立図書館の西部読書普及センターの司書専門員である。県の職員であるので、前回、花田委員の方から話があった高校生についても見ていらっしゃるということなので、その辺のご意見を伺えればと思っている。5番の岡本さんは公民館館長であるので、社会教育関係のものも含めてご意見を頂戴することになると思う。6番の南波さんは長浜幼稚園の園長で、幼児関係の保育についてご意見を伺おうと考えている。7番は保育連盟の長谷川副会長である。保育園の園児の様子を伺うということで選ばせていただいている。8番は和田先生で、今年度から司書教諭ということで浜田養護学校に赴任された先生である。障がいをお持ちのお子さん、高校生までのご意見を伺うこととする。9番の植田先生は波佐小学校の教頭先生であり、司書教諭も兼ねている。小学校の状況を伺う予定としている。10番は金城中学校で司書教諭をされている永安先生であり、中学校の様子を伺う予定としている。内訳はこういった委員の方々に予定をしている。下に予定として開催スケジュールを載せている。検討会を5月から第1回、7月から第2回、その時点でパブリックコメントを8月に出ささせていただいて、その意見を持ち寄って第3回を9月に開催予定である。10月には教育委員方定例会に提出して、最終案とする予定としている。

石本教育長
各委員
石本教育長
各委員

説明があつたが、質問はあるか。
質問等なし。
質問等がないので、ここに挙がっている委員方に決定させていただきたいと思うがよろしいか。
全会一致で承認

(5) 教育委員会学校訪問について (資料5)

小林係長

昨年度から変更はない。実施期間としては5月下旬から7月の間でということ考えているが、皆様に先般お配りした日程調整がつかなければ前年度と同様に幼稚園は2学期に入ってから訪問

ということも考えたいと思っている。一応は全小中学校、幼稚園の訪問を予定している。訪問者についても9名で従来通りとさせていただいている。今回委員方に意見をお聞きしたいところ、決めていただきたいところとしては2点ある。日程については調整の上改めてお示しするということと、もう1点が意見交換の内容についてご意見があればお聞かせいただけたらと思っている。過去の意見交換テーマということで平成24年度から載せている。小中によってテーマを変えてやるということをやっているが、教育長からも先ほどお話しがあったが、事務局として学力調査の関係の自校採点の分析結果及び今後の取組については、今年度もこの教育委員会の学校訪問の際にテーマとさせていただきたいということを提案、要望があった。それも踏まえて意見交換のテーマがあったらお示しいただけたらと思うので、よろしくお願ひしたい。日程についてはまた改めて調整してお示ししたいが、裏面以降にあるように、今年度は6月議会が2週間ずれている関係で学校行事の絡みも合わせて6月下旬から7月に集中して行わなければならない状況になっている。また学期末の学校も慌ただしい時かもしれないが、暑くなっているところでの訪問となるというところでご了解いただけたらと思うのでよろしくお願ひしたい。

石本教育長

先に日程のことだが、これは記入してもらっていつまでに出したらいいか。

小林係長

事前にお配りしているので、今日提出いただけたらと思う。

石本教育長

日程については後ほど調整をするということで、意見交換のテーマについて検討したい。私が最初の報告の中で話をさせていただいた自校採点の分析の結果、それから今後の取組についてということだが、これについては事務局の方から1つテーマとして入れたいのだが、ご了解いただけるか。

各委員

全会一致で承認

石本教育長

それでは1点については昨年同様自校採点の分析結果と取組について学校の方と意見交換をするということにさせていただく。もう1点何かあるか。

宇津委員

小中関係なく、メディア接触についての問題が今まで取り上げられていないといった背景で、これは相当数の学力との関係が出てくると思う。児童・生徒のメディア接触の現状と課題についてそれをどう学校としては考えているのかといったことも聞いてみ

たいと思う。もう1つは、学校裁量の予算が新規に付いた。この目的は、特色ある学校づくりというか、そのあたりが狙いだと説明であったので、少なくとも取組、特色ある学校運営について学校裁量の予算の使い方などを聞いていただくとそれぞれの特色をどうやって達成しようとしているのかというところが分かるかと思う。

石本教育長　　その他に意見交換のテーマでこういったものというものがあるか。

小林係長　　テーマの内容によっては、校内視察15分、ヒアリング35分ということでやっているが、この配分を変えたり、意見交換を中心にするということであれば先にヒアリングをやって、余った時間で校内視察といったことも考えられる。この辺りも決定ではなく、話によって変更できる部分である。

石本教育長　　基本的には先に学校視察をした方が気付いた点を後で聞かれるのでいいのではないかという気がする。そうすると意見交換の時間が押してしまうとか時間が短くなるといったこともある。

小林係長　　ただ、年に1回の学校訪問ということもあるので、じっくり見たいという意見を今までもいただいているところなので、50分程度ということでやっている。この時間を増やすということはなかなか難しいか。

石本教育長　　十分だと思う。事務所の方も1校当たり30分されるので、それに比べたら多少余裕はある。

花田委員　　家庭教育支援を浜田でやろうということがあるので、メディアの話があったが、その中の1つとしてメディアということがあると思うので、テーマとしていいと思う。

金本委員　　学力調査の結果を踏まえてというところで、家庭教育やメディアのこと等諸々出てくるのかと思う。

石本教育長　　学力向上対策の中にメディア接触のことも課題に入れているので、取組として出てくるかもしれない。

藤本委員　　毎年のことだが、私は独自のテーマを持っていくのでこれはこれでよい。

石本教育長　　時間的なこともあるので何点もということにはいかないと思うが、先ほど話した自校採点の分析の関係を除いて、あと2つ位になると思う。時間的に30分ということであれば先ほど宇津委員が言われたメディア接触の現状とそれに対する課題、それについての対応といったこと。もう1点、学校裁量予算でこういった特色

	を出すのか、どういう取組をするのか。これはたぶんあまり時間がかからないと思うので、これも含めて3点を今回は意見交換のテーマとする方向でよろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	後は事務局の方で調整をお願いしたい。それでは3点についてよろしくをお願いしたい。当然また給食を食べるということによいか。
小林係長	そうである。昨年度は午前になったり午後になったりと少なかったが、基本は1日単位としているので給食を考えている。
石本教育長	1日単位だと5日間位で終わるか。
小林係長	予備日が1日程度で大体6日位と思っている。
石本教育長	長丁場になるがよろしくをお願いしたい。

3 部長・課長等報告事項

山本部長	平成28年6月 定例会日程（見込み）（資料6） 資料6、6月議会の日程である。6月17日に開会となっており、例年よりは遅い開催である。後ろに選挙も控えている。20日から一般質問が始まり、24日に議案質疑があり、27日に総務文教委員会、28日に福祉環境委員会、29日に産業建設委員会、30日に予算決算委員会がある。7月4日が採決となる。正式には6月10日に決定となる。
佐々木課長	平成27年度閉校式・閉校セレモニーの様子（資料7） 教育長の報告でもあったが、今市小学校の閉校式・閉校セレモニーが行われた。委員方にも出席いただきありがとうございます。参加者が約300名ということで閉校式を開催した。セレモニーとしてはここに載せてある様な相撲大会や記念碑除幕等があり、参考までに写真を載せているのでご覧いただきたいと思う。ここには載せていないが、4月8日には新しい旭小学校の開校式が行われた。 平成28年度公立幼稚園園児数一覧表（資料8） 今年度の公立幼稚園の園児数一覧表ということでお示しさせていただいている。市内4園で、1番右側に今年度の4月1日現在の園児数を一覧にしている。原井幼稚園の園児数がかなり減っている状況がある。総体的に園児数が減っているが、特に原井幼稚園が半分近くに減っている現状がある。原因がはっきりわからないが、こういった状況となっている。

行事等予定表（資料 9）

5 月末までの予定を一覧表に挙げている。委員方に関するものとしては 5 月 19 日（木）小体連陸上大会が予定されているので、またご案内等があると思う。来週 25 日には市町村の教育長会議が予定されており教育長が出席される。5 月 13 日には PTA 連合会委員総会となっている。教育事務所の学校訪問が 5 月 17 日からで、何日かに分けて実施される。その他ご覧いただき確認いただけたらと思う。委員方に案内のあるものについてはまた改めてご連絡差し上げたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

石本教育長

5 月 19 日（木）の小体連の陸上大会が、例年のことだが全国都市教育長会と重なるので、また藤本委員に最初のご挨拶をお願ひしなければいけないと思うが、この日は出席されるか。

藤本委員

大丈夫だと思う。

石本教育長

それではよろしくお願ひしたい。

森脇課長

平成 28 年度 学校職員名簿（資料 10）

資料 10 として平成 28 年度学校職員名簿を付けている。網掛けのところは人事異動があった方である。校長先生 11 名と教頭、主幹教諭の方 12 名の方の異動があった。裏面をご覧いただきたい。こちらには平成 28 年度学校・学年別児童生徒見込数ということになっているが、3 月 31 日現在の数字を載せている。今年の小学校の 1 年生が 420 人ということで例年通りの数字であったかと思う。下には学校ごとの児童数の下に学級数を書いてあるので、またご覧頂けたらと思う。

石本教育長

昨年との比較は書いていないか。合計が 4,020 人になっているが、昨年は何人だったということの記載がないか。減っているのは減っているか。

山本部長

昨年は 4,076 人である。

石本教育長

56 人減っている。小中は分かるか。

山本部長

小学校が 2,690 人、中学校が 1,386 人である。

石本教育長

中学校は増えたということか。

山本部長

そうである。

石本教育長

小学校が大きく減ったことで、トータルが減っている。

森脇課長

今日の資料は 3 月末のものなので、5 月の時点で多少動きはあるが、そんなに入ってばかりではないので、ものすごく増えることはないかと思う。

石本教育長

岡田室長

正式な数字は5月1日になる。また次回昨年度との比較が分かる形で示していただきたい。

平成27年度学力向上総合対策事業実績報告書（資料11）

昨年度の学力向上総合対策事業の実績について説明する。滝本室長がまとめられているので代読だが、たくさんあるので簡単に説明させていただく。

最初に家庭学習ノートコンテストということで、各学校に呼び掛けてやっている。学校でも学習ノートの指導については継続していたが、子どもたちの良いノートやパンフレット等を見させてもらったりということで、非常に学校の方としても子どもたちの指導に役に立っているのも、非常に喜んで子供たちも取り組むことができたと思う。

2 ページの学習プリント配信システムの活用ということで、浜田市は中学校における学習プリント配信システムについても予算措置をしていただいている。これについて学校ではプリントを教育委員会の方で印刷をして準備していただけるということは本当に助かっている。印刷してもらったものがあると教室に配置をして、学習の時間の余ったところを取り組ませることができたり、宿題に持って帰らせることができるので、子どもたちも競い合って勉強することができる環境を整えてもらえることができるということで非常に有効である。印刷部数が30万部ということを経済委員会に入って初めて知って大変驚いたが、非常に有効に活用されていると思う。

続いてコア・ティーチャーの育成ということで毎年3名の先生方を派遣していただいている。以前勤務していた雲雀丘小学校でも派遣していただいたことがあったが、教職員の中心となってやってもらえるというか、フロントランナーかは分からないが、他の教職員を巻き込んで教師力向上に働きかけてくれる教員だったので、これについても非常に有効だったが、3年経ったというところで事業を継続するのか、他に良いところもあり、その辺については見直しの必要があると思っている。スーパーティーチャーによる教員研修については昨年筑波大学付属小学校の二瓶先生に来ていただいて、国語科の文学作品の学習指導ということで授業を見せていただいた。研修に参加した教員がスーパーティーチャーの授業を模して伝達講習をしてくれたが、場面構成とクライマックスの部分を考えさせるとい

うことで、提示されたことだけでなく文学作品の授業であったら使えるものを提示してもらえて、学習に沿って使えるということで好評だったので、今年度は国語だけでなく算数の先生にも来ていただけるということで、学校の方にも参加を呼び掛けていきたいと思う。

協調学習の研修では、東京大学の大学発教育支援コンソーシアム推進機構（CoREF）というところと協力しながら授業をやっているが、これからアクティブラーニングという様なことが必要になってくるということで、小中のみならず、高校、大学でも取り組んでいるが、浜田地区では段々とされる方が増えてきて、昨年では三隅中の塩谷先生が研究推進員になられて段々と普及が進んでいるところだと思う。原井小、今年度は教育センターに移られたが佐々木拳匡先生が研究推進員から協調学習マイスターとして登録されているので、また色々なことを発信してくれるのではないかと考えている。それから学校図書館活用教育研究指定校ということと、併せて図書館活用教育の研修ということで話をしたいと思うが、研究指定校については本当に熱心に取り組んでくださって、2回授業をしてくださればいいということで呼び掛けているが、多いところでは5回してくださっている学校もあつたり、非常に研究が進んでいると思う。今年度も授業が継続しているので、各校訪問、挨拶に回ったが、来年度以降もやっていただけるといいなという意見もいただいているので、そのことについても努力していきたいと思う。

12 ページの今後の課題で、「学校司書を配置し～」というところで、各学校に学校司書を配置していただいたので、図書館に必ず誰かがいるので子どもたちも楽しく図書館に通うことができるようになったと思う。実数に差等はあるが、図書館を活用した授業を進める教員が以前より増えたという実感があるので、非常に良かったと思う。それに合わせて図書館活用教育の研修ということで初めて学校司書として入ったという様な方もおられたが、非常に熱心に研修に参加してくださり、色々得られたものを学校の方でも出していただいたり、授業に必要な図書等を借りてきてくださったりということで非常に子どもたちが図書館に親しむということでは有難いと思う授業だった。

17 ページのところでは浜田市図書館を使った調べる学習コンクールということで、なかなか学校の方としても時期的に苦しいところもあったが、これに取り組んで、一生懸命やる子どもたちが出てきており、昨年度原井小の子どもと波佐小の子どもが18 ページのところから推薦作品ということで挙がっているが、次の年も続けていきたいと考えている子どもが出てきたり、先輩が学校の方で発表する姿を見て私たちもやってみようという風に一生懸命やる子が増えているということを訪問した学校でも聞くことが増えているので、子どもたちの力を伸ばしているのではないかと思います。取組方を工夫して子どもたちの力を伸ばしていける様に広めていけたらと考えている。

長見所長

青少年サポートセンターの利用状況について（資料 12）

平成 27 年度の青少年サポートセンターの利用状況である。1 番上が相談件数、2 番目が対象人数、後が若年無業者の状況と居場所利用状況となっており、平成 26 年度と平成 27 年度の比較を載せている。相談件数が若干減っているが、内容的には結構色々問題の多い内容が増えている。対象人数だが、平成 26 年度末 154 人が 127 人になっているが、年度当初にも関わらなくてもいいだろうという様な子どもさんや生徒さんとか、いくらアプローチしようと思ってもなかなか親御さんとさえ接触できないという様なところを見直して 110 件少しまで落とし、それから平成 27 年度中に若干増えて 127 件になっている。これ以外にも 1 度だけ相談があったが、うちが対象として関わるところまではいかないだろうという様なケースも何件あった。内容によっては既に青少年サポートセンターだけでは無理といった状況のものについてはそれぞれ関係機関、それから各支所の市民福祉課の保健師さんに繋いでいる状況である。居場所の利用だが、年々若干だが増加している。中には 1 月に 10 数回利用される方もおられ、何か月に 1 度しか利用しないという方もおられるが、平均すると少しずつ伸びている状況である。

石本教育長

以上が資料のある課長方に説明いただいたが、資料がないところで報告等があるか。

山根課長

先ほど教育長からもあったが、印刷物を 2 種類ほど配布させていただいている。1 つははまだっ子共育プロジェクトについてである。ふるさと郷育の実現に向けて伴った教育プロジェク

トを推進するものである。これが目指しているものは地域ぐるみで子どもを育むことを通して、子どもも地域（大人）も高まり合おうというものであり、昨年度までもあったはまだっ子活動支援運営委員会の取組をベースに新たに今年度から行うものである。子供を取り巻く環境や1日の生活に着目して学校・家庭・地域と連携して子どもの育ちを応援していこうというものである。もう1つ親学プログラムのチラシだが、家庭教育支援の一環として親学の取組を強化している。多くの親学はPTA研修会において取り組まれている。昨年度は23会場で実施している。それぞれの小中学校のPTA総会時に各公民館の主事等がお邪魔してはまだっ子共育プログラムと親学についてご説明をして推進の話をして回っているところである。

栗栖分室長

今は無き今市小学校が平成28年度の桜功労賞を受賞されたということで、4月13日に東京の憲政記念館で表彰式があった。

石本教育長

資料6から資料12まで、追加で生涯学習課と旭分室から報告があったが、報告事項の中で質問等があるか。

宇津委員

2月末の定例教育委員会の時に金本委員から算数に関わる推進校、指定校に関わる話があったと思う。まだ手を挙げられる学校があるかないかということだったと思うが、その辺はどうなったか。

石本教育長

浜田市でいうと周布小学校が算数の推進指定校ということで県の教育委員会から内示をいただいている。中心となって授業を展開される先生が決まり、周布小学校が県教委と相談をしながら年度計画、そういったものを作り上げていって、実際には5月に入ってからスタートになると承知している。

他に質問はないか。

幼稚園の関係だが、先ほど原井幼稚園の減少理由がなかなか分からないということだったが、全体でも144から121ということで23名程園児の数が減っているが、たまたま3歳4歳5歳になる子供の数が全体的に減っているのか、それとも保育園の方に行った園児が多いのか、その辺の分析がまだできていないのか。

佐々木課長

そこまではできていない。保育園に行く人数が多い流れがあるのかと思う。

石本教育長

毎年4月の終わり頃に保育園児の数を出されるが、それが分

藤本委員	<p>かればたぶん保育園の方に行った人数が多い等が分かるかもしれない。また来月でもいいので資料を出してほしい。</p> <p>パンフレットについて、放課後子ども教室と放課後児童クラブとあり、考え方が放課後児童クラブは福祉の機関で放課後子ども教室は教育委員会になるのか。また、これは連携が取れているのか。</p>
山根課長	<p>教育委員会である。連携は完全には取れていない。放課後児童クラブの方は子育て支援課の所管で、昨年度から1年生から6年生までに拡充された。放課後子ども教室というのは主に公民館の方で実施しているものである。勉強、学習、遊び、体験等をしており、費用は基本的には無料である。放課後児童クラブについては保育料とおやつ代を徴収している。中には松原小や石見小では放課後遊び隊というものをやっており、放課後児童クラブと放課後子ども教室の児童と一緒に遊んでいる、それには中学生もボランティアで加わっているという様なケースもある。そのあたりもこのプロジェクトで検討して推進していくという形にしていきたいと思っている。</p>
石本教育長	<p>放課後子ども教室は花田委員が専門でやっておられるが、毎日ということではないか。</p>
花田委員	<p>毎日ではない。</p>
石本教育長	<p>放課後児童クラブは学校が終わった後と土曜日に開いている。</p>
花田委員	<p>親学プログラムのパンフレットについて、市内の保育園、小学校、中学校とあり、グラフには幼・保とあるが幼稚園は27年度は実施されなかったということか。</p>
山根課長	<p>これは指摘があり、ここに幼稚園も入れるべきなのだが、グラフには幼・保とあるが、実際27年度では幼稚園の方はなかったと聞いている。</p>
石本教育長	<p>実績がなかったということか。</p>
山根課長	<p>そうである。</p>
花田委員	<p>実施数には幼稚園も入るのか。</p>
山根課長	<p>そうである。</p>
金本委員	<p>これは箇所か回数か。</p>
山根課長	<p>回数である。</p>
石本教育長	<p>学力向上対策事業の実績報告書が非常に上手にまとめられていると思う。議会で言われたときにこれがあると非常に役に</p>

金本委員

立つと思うし、議員さんに配布して実際にこういうことをやっているということを承知してもらえれば、教育委員会も頑張っているなということを思ってもらえるかと思うので、議員方にもぜひお配りしたいと思う。

資料 11 の 6 ページで平成 28 年 2 月 23 日開催の参加人数が 11 名とあるが、ほとんどが校内の方だったと思う。外部の方が私も含めて 3 名位で、他の先生方から時期が悪く、この時期だと見に行くのが難しいという話を聞く。

石本教育長
岡田室長

推進委員の先生が日程を決めるのか。

そうである。推進委員の方には授業公開していただくといった約束があり、その先生がご都合のよろしい時を選択されている。たまたま「計算のきまり」のところが夏頃に当たったもので。

金本委員
岡田室長
石本教育長
金本委員
石本教育長

これはたぶん別枠だったと思う。

時期については検討させていただく。

議員は参加していなかったか。昔は参加していたと思うが。

今回は参加されていなかった。

昔は総務文教委員にも案内していた。

4 その他

(1) 各年間スケジュールについて (資料 13)

小林係長

各課の年間スケジュールということで、1つ1つの説明は省略させていただきたいと思う。教育委員欄があるが、出席をお願いする様な会議や行事等をまたご覧いただけたらと思うのでよろしくお願ひしたい。これに載っていないなくても必要なものについては随時委員方にご案内を差し上げる形になろうかと思うので、よろしくお願ひしたい。各課から補足や説明があればお願ひしたい。

石本教育長
各課長
石本教育長

各課から補足説明等があるか。

特になし。

各課が年間のスケジュールをざっと出しており、日にち等が未定なものが多いかと思うが、またご一読いただけたらと思う。

(2) 浜田市総合振興計画審議会委員の選出について

小林係長

これは委員方のみにおすすめ依頼の文書の写しを配付している。昨年度総合振興計画策定の中で、教育委員会の枠としては藤本委員に出席いただいてご審議いただいた。今年度以降は計画の進捗管理や外部評価の見直し案の審議を予定しているということで、28年度の委員の推薦依頼があったので、お知らせしている。総合振興計画を担当している事務局の政策企画課からあった話としては、会議の中でもあったが、27年度委員が審議の過程もよく承知をしておられるということで引き続きお願いをしたい旨の説明があったと聞いており、その点を踏まえての推薦ということで藤本委員のご都合がよろしければ藤本委員がよろしいかというところはある。また委員の推薦をお願いしたいと思う。

石本教育長

総合振興計画の審議会委員だが、今後は進捗管理をするということで策定に携われた藤本委員に引き続きという事務局としての思いがあるようだが、藤本委員よろしいか。

藤本委員

個人的には私で良ければよろしいが。

石本教育長

それではよろしくお願いしたい。

(3) その他

小林係長

委員方に配付をしているが、教育委員会懸案事項ということで冊子をお配りしている。これは例年定例教育委員会の前に部内会議を開いて、今年度取り組むべき内容、懸案事項等をまとめて報告をしているものである。委員方にも参考にお配りをしているのでまたご覧いただけたらと思う。

次回定例会日程

定例会 5月27日(金) 13時30分から 中央図書館2階

15:09 終了